

浜松市議会議員 太田康隆 様



2023年2月吉日

静岡西部陸上競技協会

会長 山口嘉



浜松市四ツ池公園運動施設再整備に関する要望書

浜松市四ツ池公園陸上競技場は、1940(S15)年に建設されてから多くの市民に愛され、オリンピックをはじめとする国内外の大会で活躍した選手を多く輩出している歴史ある競技場です。浜松市の陸上競技人口は多く、浜松市四ツ池公園陸上競技場の利用者数は全国一と言われています。

陸上競技は全てのスポーツの原点であり、陸上競技の発展がスポーツ文化の発展に寄与することになります。また浜松市が目指す「健康寿命の延伸」は、市民の主体的な取り組みが求められ、ランニング・ウォーキングはその最初の一步です。

浜松市四ツ池公園陸上競技場は市内唯一の全天候型陸上競技場であり、平日放課後や土日には多くの小中高校生が、夜間にはランニング愛好家たちが集まり練習しています。時には練習人数が多くなり、計画していた練習が出来ないばかりか衝突事故の危険性も高い状態になっています。また大会時には大会関係者・応援者合わせて1万余人が来場するため駐車場不足が深刻であり、周辺の渋滞と合わせ苦情が出ています。

さらに新競技場を市民スポーツ基地としての機能を持たせ、天候にかかわらずランニング・ウォーキングを楽しめる場を提供することができれば、より多くの市民が主体的に運動する機会を増やすことにつながります。

以上のことから静岡 西部陸上競技協会といたしまして、四ツ池公園運動施設再整備について下記の通り強く要望します。

記

1. 陸上競技の聖地を目指すべく日本陸上競技連盟公認第1種陸上競技場（世界公認）を強く要望します。

現在の陸上競技場を補助競技場（サブトラック）として併設することで、陸上競技の国内外のトップ競技者が出場する大会を開催できる他、陸上競技の拠点として多くのアスリート及び市民ランナーが練習できる環境を提供できます。

2. 新陸上競技場を陸上競技専用とすることを強く要望します。

現在の問題点を解決できるばかりか、競技場のレイアウトの自由度が増して競技者のパフォーマンスを最大限に引き出すとともに、応援する者にとっても迫力ある競技を見ることができるようになります。競技しやすい競技場にはトップ競技者が集まり、地元の中高校生をはじめ多くの競技者に大きな刺激をもたらします。

3. 十分な駐車場の確保を強く要望します。

大会時には大会関係者・応援者合わせて1万余人が来場するため駐車場不足が深刻であり、現に苦情が出ている状況です。